



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月5日

上場会社名 日本精鉱株式会社

上場取引所 東

コード番号 5729 URL <https://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 理史

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理部長 (氏名) 若林 武則

TEL 03(3235)0021

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	8,148	25.8	220	78.7	209	79.4	134	80.8
2019年3月期第3四半期	10,975	0.4	1,034	12.7	1,014	13.2	700	15.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 123百万円 (81.7%) 2019年3月期第3四半期 676百万円 (22.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	55.05	
2019年3月期第3四半期	286.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,947	7,146	65.3
2019年3月期	11,746	7,206	61.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,146百万円 2019年3月期 7,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		37.50		37.50	75.00
2020年3月期		37.50			
2020年3月期(予想)				37.50	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	26.9	390	68.9	360	70.5	240	71.1	98.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	2,605,900 株	2019年3月期	2,605,900 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	165,231 株	2019年3月期	164,892 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,440,818 株	2019年3月期3Q	2,441,026 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という）におけるわが国経済は、雇用・所得環境などに改善がみられるものの、輸出が弱含んでいるなか、製造業を中心に弱さが一段と増しております。一方、海外においても、通商問題を巡る動向、中国経済の減速、その他海外経済の不確実性などにより、景気の先行きについては、依然として不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは国内外での販売力の強化に努めるとともに、製造力及び技術力の向上、様々な工程での無駄の排除及び改善などに取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期の売上高は前年同期比2,827百万円減収（25.8%減収）の8,148百万円、営業利益は同814百万円減益（78.7%減益）の220百万円、経常利益は同805百万円減益（79.4%減益）の209百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同565百万円減益（80.8%減益）の134百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、主産地である中国において、米国との貿易摩擦が長期化し、需給関係が緩み、急速に下落しました。9月に入りやや持ち直したものの、再び弱含みとなっております。当第3四半期の平均価格は、約6,400ドルとなり、前年同期比約23%下落しました。円建てでは同約25%の下落となりました。

同事業の販売状況につきましては、中国およびその他のアジア諸国の景気減速などの影響を受け、国内外の需要が減退し、販売数量は前年同期比868トン減少（15.0%減少）の4,935トンとなりました。

この結果、同事業の当第3四半期の売上高は、販売数量の減少と販売価格の下落により、前年同期比1,481百万円減収（25.3%減収）の4,370百万円となりました。セグメント利益は、販売数量の減少や原料地金相場下落の影響などにより同201百万円減益（69.3%減益）の89百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は、当第3四半期平均でトン当たり689千円となり、前年同期比8.5%の下落となりました。

電子部品向け金属粉の販売状況につきましては、電子部品の生産・在庫調整などにより、スマートフォン関連需要などの低迷が続いており、販売数量は前年同期比326トン減少（34.6%減少）の616トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉の販売状況につきましては、自動車部品・家電部品向けが低調のまま推移し、販売数量は前年同期比297トン減少（20.1%減少）の1,179トンとなりました。

全体の販売数量は、前年同期比623トン減少（25.8%減少）の1,794トンとなりました。

この結果、同事業の当第3四半期の売上高は、販売数量の減少と販売価格の下落により、前年同期比1,346百万円減収（26.4%減収）の3,761百万円となりました。セグメント利益は、電子部品向けの大幅な受注減と原料地金価格下落の影響などにより、同612百万円減益（86.6%減益）の94百万円となりました。

[その他]

不動産賃貸事業の当第3四半期の売上高は17百万円（前年同期比0.3%増収）、セグメント利益は16百万円（前年同期比0.7%増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ798百万円減少の10,947百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末と比べ863百万円減少の6,551百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が347百万円、商品及び製品が304百万円、原材料及び貯蔵品が269百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ64百万円増加の4,395百万円となりました。これは主に有形固定資産が65百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ738百万円減少の3,801百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末と比べ639百万円減少の2,993百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が187百万円、電子記録債務が78百万円、未払法人税等が157百万円、賞与引当金が78百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ98百万円減少の807百万円となりました。これは主に長期借入金が112百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末と比べ60百万円減少の7,146百万円となりました。これは主に利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により134百万円増加しましたが、配当により183百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年11月1日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。なお、業績予想の修正が必要と判断した時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,733,777	2,726,727
受取手形及び売掛金	2,068,435	1,721,051
商品及び製品	1,417,086	1,112,290
仕掛品	282,138	197,267
原材料及び貯蔵品	870,124	600,767
その他	50,399	199,073
貸倒引当金	△6,721	△5,274
流動資産合計	7,415,241	6,551,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,394,609	1,532,886
機械装置及び運搬具(純額)	787,308	762,061
土地	1,474,191	1,474,191
その他(純額)	238,553	191,487
有形固定資産合計	3,894,662	3,960,627
無形固定資産	46,238	45,441
投資その他の資産	390,366	389,717
固定資産合計	4,331,266	4,395,786
資産合計	11,746,508	10,947,689

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	803,284	616,175
電子記録債務	301,443	222,538
短期借入金	1,657,500	1,635,000
未払法人税等	162,346	4,592
賞与引当金	155,433	77,255
その他	553,717	438,323
流動負債合計	3,633,724	2,993,884
固定負債		
長期借入金	470,000	357,500
退職給付に係る負債	361,319	347,825
資産除去債務	36,389	36,755
その他	38,679	65,596
固定負債合計	906,388	807,677
負債合計	4,540,112	3,801,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	5,740,730	5,692,028
自己株式	△152,619	△153,353
株主資本合計	7,170,963	7,121,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,957	25,989
為替換算調整勘定	2,474	△1,389
その他の包括利益累計額合計	35,431	24,600
純資産合計	7,206,395	7,146,127
負債純資産合計	11,746,508	10,947,689

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	10,975,867	8,148,655
売上原価	9,154,528	7,221,972
売上総利益	1,821,339	926,683
販売費及び一般管理費	786,919	706,304
営業利益	1,034,419	220,378
営業外収益		
受取配当金	3,435	3,559
為替差益	3,595	-
受取保険金	1,254	11,780
助成金収入	6,879	4,688
その他	9,181	10,105
営業外収益合計	24,345	30,134
営業外費用		
支払利息	13,578	10,554
休止鉱山費用	26,898	21,273
その他	3,841	9,438
営業外費用合計	44,317	41,266
経常利益	1,014,447	209,247
特別損失		
固定資産除却損	2,178	1,648
特別損失合計	2,178	1,648
税金等調整前四半期純利益	1,012,268	207,598
法人税、住民税及び事業税	297,070	38,152
法人税等調整額	15,111	35,083
法人税等合計	312,181	73,235
四半期純利益	700,087	134,362
親会社株主に帰属する四半期純利益	700,087	134,362

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	700,087	134,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,607	△6,967
為替換算調整勘定	△3,339	△3,863
その他の包括利益合計	△23,946	△10,830
四半期包括利益	676,140	123,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	676,140	123,532

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,851,391	5,107,516	10,958,907	16,959	10,975,867	-	10,975,867
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	35,321	35,321	-	35,321	△35,321	-
計	5,851,391	5,142,837	10,994,228	16,959	11,011,188	△35,321	10,975,867
セグメント利益	291,171	707,546	998,718	16,592	1,015,310	19,108	1,034,419

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額19,108千円はセグメント間取引の消去19,108千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	4,370,236	3,761,415	8,131,651	17,003	8,148,655	-	8,148,655
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	-	21,794	21,794	-	21,794	△21,794	-
計	4,370,236	3,783,209	8,153,446	17,003	8,170,450	△21,794	8,148,655
セグメント利益	89,410	94,593	184,004	16,717	200,721	19,657	220,378

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額19,657千円はセグメント間取引の消去19,657千円であります。